

横浜市立西富岡小学校

令和3年度 体育・健康プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
自進力！西富 ～実感【知・徳】・共感【知・徳】・主体性【知・公・開】	・友達と互いに認め合い、進んで運動に取り組み、自分の成長を実感できる力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> ○全職員がチーム力を生かしながら児童理解や児童指導に取り組み、子どもたちが安心して生活でき、学習の基礎能力を高める学校を作ります。 ○あいさつ運動やなかよし活動を通して、集団の中で一人ひとりが輝きながら成長できる学校を作ります。 ○インクルーシブ教育システム構築のため子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた学校を作ります。 ○小中一貫ブロックや家庭・地域と連携し、キャリアを意識して形成できる教育活動を進めます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

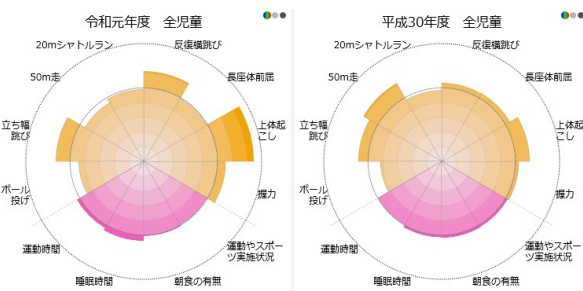
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> ① 児童が自らの課題を把握し、進んで楽しみながら体育に取り組んでいけるように指導する。 ② 授業の中での学び合いを大切にし、お互いのよさに気付き、ともに高め合っていくとする態度を育てていく。 ③ 体力向上に関する活動に取り組み、児童が自ら運動をする習慣を育てていく。
担当	体育部

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・新体力テストの結果より、得意な動きと（運動）と苦手な動き（運動）の差が大きいという実態がある。
- ・休み時間は外遊びをする児童が多いが、個人差があり、内遊びに偏る児童もいる。
- ・給食は、好き嫌いを減らしてしっかり食べるように指導しているが、学級または個人により差がある。
- ・保健では、学習したことを生活面に生かしている。学校保健委員会での活動も生かして、学級や自分の生活習慣を見直す機会もある。
- ・学区には大小様々な公園があり、放課後体を動かす遊びをする児童もいるが、習い事等で遊ぶ回数が少ない児童もいる。
- ・地域には、ソフトボール、サッカーなどのスポーツクラブがあり、運動が好きな児童が所属している。また、スイミングスクールに通う児童が多い。
- ・睡眠、食事、歯磨き等、多くの児童は健康的な生活習慣が身に付けられている。

(2) 体力の概要と要因の分析



大きく変化した数値がいくつかあり、上体お越しや反復横跳びは数値が上昇しているが、50m走は数値が減少している。また、ボール投げに関しては大きく平均を下回っている。運動週間の継続だけでなく、クラス配当のボールをより活用し、外遊びを推進していくよう声かけが必要である。何より、日々の体育科での授業により、様々な体の動かし方を学び、楽しさを味わわせる必要がある。

3 体育・健康に関する具体的取り組み

教科

《体育科の取組》

運動に親しむ態度、自己の健康のために主体的に課題解決する力を育む

- ・体育科では、児童が自らの課題を把握し、めあてをもって活動できるよう、教師が授業内容やワークシートを工夫し、児童がお互いにアドバイスをしたり、話し合っって考えを共有したりできるよう学び合い、高め合うことができる態度を育てていく。
- ・保健学習で体力の向上や自己管理について学び、健康を維持することができる態度を養う。

《他教科での取組》

心身ともに健康な生活を実践する態度を育む

- ・食育や学校保健委員会、保健学習との連携を図り、体力向上や健康的な生活習慣に結び付ける。
- ・道徳では、生命の尊さを知り豊かな心を育てる。

特別活動

各児童会活動で、健康に関する企画を計画し、全校で健康に対する関心を高める。

- ・運動会では、体育科で培った資質能力をさらに発展させ、各学年の競技や個人の競技で成果を発揮できるよう指導する。
- ・学校保健委員会の取り組みで学校全体の健康に関する意識を高める。
- ・給食委員会による給食週間の取り組みにより、食育との連携を図る。
- ・運動委員会による、外遊びの推進や運動習慣などの取り組みにより、学校全体での体力向上を図る。

令和3年度 西富岡学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 体育行事の充実

《ねらい》 運動機会の確保、外遊びの推進

《内容》 運動委員会による外遊び推進。

運動委員会を中心として、外遊びの推進運動を行っていく。また、体力テストの結果に準じた企画を計画・運営していく。昨年度はボール投げの力をつける運動習慣を企画した。今年度も引き続き、運動週間を実施し、体力の向上を図っていく。

●指 標： ①体力テストの結果により振り返りをする。

②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。